

益城の文化財

田原の地蔵堂(寺迫)



津森バス停から日道に入り、津森グラウンドに向かう途中の民家の屋敷内に田原地蔵堂があります。堂内には2体の尊像が祀られています。地蔵堂の建立由緒などは不明です。11月24日の祭日には、田原地区の多くの人が集まり、住職の読経の後に、公民館で座祭りが持たれています。

地蔵堂の周辺からは、板碑や多数の石塔(五輪塔や宝篋印塔)の残欠などが発見されています。これらの遺物から、この付近は寺屋敷跡だと言われています。地蔵堂も単体として建立されたものではなく、おそらく寺院と関連するものだと考えられていますが今日、寺院の姿は全く見ることはできません。

中世期の「寺中」は、東は現在の田原から西は下寺中まで含まれていました。そして田原には「東の伽藍」、下寺中には「西の伽藍」と称される寺が存在したと言われています。「東の伽藍」と称される寺院は、開基は12世紀中期頃で、経済力と政治的指導力を持つ在地領主的存在だった伽藍源太夫によって勧請されたと考えられています。天台宗寺院で、寺号は「西念寺」であろうと伝えられています。

室町時代(15世紀中頃)に津森郷に入部した津森城主光永氏は、津森宮の祭日に流鏑馬を挙行しています。津森郷を代表する寺中地域でこれを行うことで光永氏は、郷民に対して新しい軍事力体制を示して、領主支配権の在り方を誇示したと思われます。この流鏑馬の出発地点が東の伽藍とされており、東の伽藍が寺中集落を構成する重要な要素をもっていたことを意味していると思われます。

東の伽藍(西念寺)は、東は霜御前社や諏訪宮を擁し、地蔵堂を付置し、一大伽藍を形成していた格式高い寺院ではなかったかと考えられています。

参考文献

『益城町史(通史編)』益城町史編纂委員会編
益城町文化財保護委員会

おたより紹介

✉ 広報ましきで成人式の紹介を見て4年後のわが家の子どもたちの姿を想像してみました。今のままでいい、やさしい気持ちを忘れない大人になってくれたらと思います。
P.N パワー全開

✉ 消防団の出初式の記事、かっこいい写真でした。冬の防火のよびかけなど、本当に感謝です。
P.N りんごちゃん

✉ わくわくスポーツクラブ、低料金で色々なスポーツに参加できて楽しんでいます。水泳もあるといいなと思います。
P.N むらえ

✉ うわさもんコーナーが大好きで、とても気に入っています。益城の若者が頑張っているのを見ていると、とっても嬉しく思います。将来有名人も出てくるかもしれませんね。
P.N ミー子

✉ ミナテラスをよく利用します。たくさんの本や映像コーナーがあってとてもおもしろいです。ミナテラスがだい好きです。
赤井 吉村 紗音

わが家の天使



てらお こはる
寺尾 酬春 ちゃん
(広崎3町内)

じじ、ばば、おじちゃん、おばちゃん、いつもありがとうございます♡ これからもわが家のアイドルをよろしくね。

パパ 光司さん ママ 知美さん



ほりた たかよし
堀田 高義くん
(馬水南)

初めまして、高義です。みんなの愛情に包まれて、すくすく成長中です♪ これからもヨロシクね!!

パパ 高志さん ママ 裕美さん